

## 2018年 “BOKUJOBメインフェア”

この度は、BOKUJOB メインフェアにご参加くださり誠に有難うございます。  
この機会に競馬業界、牧場業について多くの事を知って頂ければ幸いです。

本資料は**ビッグレッドファーム**の概要などをまとめておりますので、是非お目通しください。どうぞよろしくお願い申し上げます。



<https://www.facebook.com/BIGREDFARM>

<http://www.bigredfarm.jp>



## ～ ビッグレッドファームの紹介 ～

ビッグレッドファームは北海道に5つ、茨城県に1つの計6つの牧場を構えて営んでおります。現在も新規取得の土地で牧場を作っている真っ最中で年々規模を拡張してまいりました。牧場の総面積は407ヘクタール。牧場内で管理している馬は計450頭を超え、他に競馬場へ入厩している馬、他所の牧場へ預けている馬なども合わせると、関係する馬は総数650頭ほどになります。従業員総数は現在約100名、馬の世話を担う正社員が計60名、牧場内の清掃や整備を担うパートタイマーが40名です。

業務内容は軽種馬(サラブレッド:競走馬)の生産、育成、調教、種牡馬と軽種馬業に関わる全ての業務を担っている総合牧場で、管理頭数、面積、従業員数など、全てにおいて、日高地方屈指の規模を誇ります。

ビッグレッドファームは従業員の定着率の高さを誇っております。業界トップクラスの給与待遇のみならず、**挨拶の徹底と環境整備**を重要視している姿勢が、結果として前向きに気持ちよく明るく仕事に取り組むことが出来て、安心して働ける環境を作り出していると考えております。

まずは挨拶について。円滑なコミュニケーションを図れるように挨拶を徹底させております。挨拶はコミュニケーションの第一歩。挨拶が無ければ会話になり辛いですし、会話が成り立たなければ、社会人として必要な報告・連絡・相談ができません。挨拶が無いと結果として風通しの悪い、居心地の悪い職場となってしまいます。ゆえに、私共はコミュニケーションの第一歩である挨拶を徹底させています。

もう一つの環境整備とは、要するに牧場を綺麗に保つことです。日々の環境整備の積み重ねが、結果として牧場の景観を保つことに繋がります。広大で綺麗で空気が澄んだ職場は、朝起きた時に今日も頑張るぞという気持ちにさせてくれます。臆病な気質の大動物を扱う牧場業は事故や怪我が少なからず起こります。しかし、綺麗に保つことで危険な箇所を事前に見つけ易く、大きな事故を防ぐことにも繋がりますし、荒んだ気持ちでは注意力も散漫になりがちですが、気持

ちよく働けると気持ちも落ち着き冷静に作業に当たることが出来ます。

よって、牧場の作業とは、馬に調教を付けたり、馬の世話をすることばかりが仕事では無く、馬が身近に居ながらも、馬に接しない作業も沢山ございます。環境整備も含めてすべての作業がビッグレッドファームでの仕事となります。

ビッグレッドファームは広大な土地に広がる景観、そして来場者の誰しにも挨拶を心がけ、気さくに話しかける従業員の対応は業界内でも評価され、関連会社のクラブ会員様にはじまり、競馬関係者、一般のファンやツアー客など、年間で非常に多くの来場者を迎え入れ、いつでも誰でも来場される方々のペースで見学が可能な牧場として定着しております。来場者が多いことで、常に見られる意識が芽生え、身だしなみに気を配り、馬の曳き方や騎乗姿勢をはじめとした、作業に臨む姿勢の向上に繋がり、何より牧場を綺麗にしておこうという意識が継続されます。多くの来場者と会話する機会に恵まれるということは、言葉遣いにはじまり、相手に対しての気遣いを肌で感じ、従業員同士では気がつかない視点で意見して頂けるなど、牧場や従業員にとっても勉強させていただける機会となります。来場者が多ければ多いほど、会社や従業員にとって良い効果をもたらすという考えから、ビッグレッドファームではいつでも誰でも来場される方々のペースで見学が可能な牧場であり続けております。

勿論、事業の核であるサラブレッドの生産、育成においても、“丈夫で強く健康な馬づくり”を指針として、業界では屈指のハードトレーニングで若駒を育成しています。デビュー率は非常に高く、これまでに生産馬からはマイネルキッツ(天皇賞春優勝)、マイネルネオス(中山GジャンプS優勝)、育成馬からはコスモバルク(シンガポール航空国際C優勝)、マイネルセレクト(JBC スプリント優勝)、マイネルラヴ(スプリンターズS優勝)、マイネルハウオウ(NHKマイルC優勝)、マイネルマックス(朝日杯2歳S優勝)、コスモサンビーム(朝日杯2歳S優勝) など、大舞台で活躍する馬も多く送り出しており、生産部門、育成部門の実績も十分な牧場です。

## ～ ビッグレッドファーム各場の紹介 ～

【ビッグレッドファーム 明和(めいわ)】 270<sup>頭</sup> 220頭 北海道新冠郡新冠町字明和120-4

平成11年開場。平成14、17年と拡張し現在にいたります。本店所在地であり、5つの牧場の中でも面積、管理頭数、従業員数が最も多い牧場で、種牡馬を管理するスタリオンをはじめ、生産、育成、調教の全ての業務を行っている牧場です。全長1100<sup>メートル</sup>の屋根付き坂路コース、1100<sup>メートル</sup>のトラックコースを備えており、ホッカイドウ競馬の認定厩舎としても認可を受けております。

【真歌(まうた) トレーニングパーク】 40<sup>頭</sup> 90頭 北海道日高郡新ひだか町静内真歌414

育成、調教を中心とした平成3年開場のトレーニング専門の牧場。日本でも有数の規模を誇る全長1500メートルの屋根付き坂路コースを備え、ホッカイドウ競馬の認定厩舎として、レース当日に牧場から直接競馬に参加し結果を残しているように、確かな調整技術で実践さながらのトレーニングを行っています。

【ビッグレッドファーム 銚田(ほこた)】 10<sup>頭</sup> 70頭 茨城県銚田市安塚880-34

平成19年に開場したJRA 美浦トレーニングセンターから1時間程度の位置にある育成場です。同トレーニングセンターから近い為、現役馬の短期調整に利用され、600mの屋根付き坂路コースで入念に乗り込まれて、入厩後直ぐの出走をかなえています。南関東の認定厩舎としても認可を受けております。

【ビッグレッドファーム 浦和(うらわ)】 30<sup>頭</sup> 25頭 北海道日高郡新ひだか町静内浦和250-4

昭和49年より牧場を営んできたビッグレッドファームの発祥の地であり、静かで落ち着いた環境から、休養馬や繁殖牝馬の管理を行っている牧場です。

【ビッグレッドファーム 田原(たはら)】 20<sup>頭</sup> 20頭 北海道日高郡新ひだか町田原

平成23年より開場し、桜で有名な新ひだか町の二十間道路に近くにある牧場です。主に離乳後から1歳馬の鞍付けまでの馬達を管理しています。

【ビッグレッドファーム 朝日(あさひ)】 57<sup>頭</sup> 30頭 北海道新冠郡新冠町字朝日

平成30年に開業予定の新冠町サラブレッド銀座と呼ばれる通りに位置し、繁殖牝馬および幼駒の管理を担う牧場になります。

## ～ 関連会社 ～

株式会社サラブレッドクラブラフィアン(クラブ法人) 代表取締役 岡田 紘和

有限会社ラフィアンターフマンクラブ(愛馬会法人) 代表取締役 岡田 ゆりか

東京都中央区京橋2-11-6 京橋弥生ビル4階

1頭を50～100口に分けて競走馬に出資できる会員制クラブです。所属馬はビッグレッドファームに集められて心身ともに鍛え上げられ競走馬として育てられます。主な所属馬にマイネルキッツ、マイネルネオス、マイネルマックス、マイネルラヴ、マイネルハウオウ、マイネルマックスなどの G1 ホースがおります。毎年、6月の最終週に北海道のビッグレッドファームで募集馬の展示会があり、300名ほどの会員さんが牧場に集まり賑わいます。

公式ホームページ <http://www.ruffian.co.jp>

## …競馬と牧場の仕事について…

競馬は何世代にもわたり改良を重ねられたサラブレッド(軽種馬)の競走であり、人馬一体の躍動美を楽しむスポーツとして、また賭けを通じて楽しむ娯楽として、そのスポーツ性と娯楽性の両面から人々に親しまれてきました。さらに、競馬は血統のスポーツであるともいわれ、育成・調教の過程を経てレースに出走し、選び抜かれた馬はやがて生産の場に還元されて、優秀な馬の生産へと連結されています。

このように競馬は単なる賭けの対象としてだけでなく、競走馬の改良、馬の生産・育成から、競馬開催に関わる人々の雇用の観点からも大きな役割を担っています。また、健全な娯楽の提供、さらにその収益を社会や地域に還元する点においても、社会との深いかわりがあるのです。

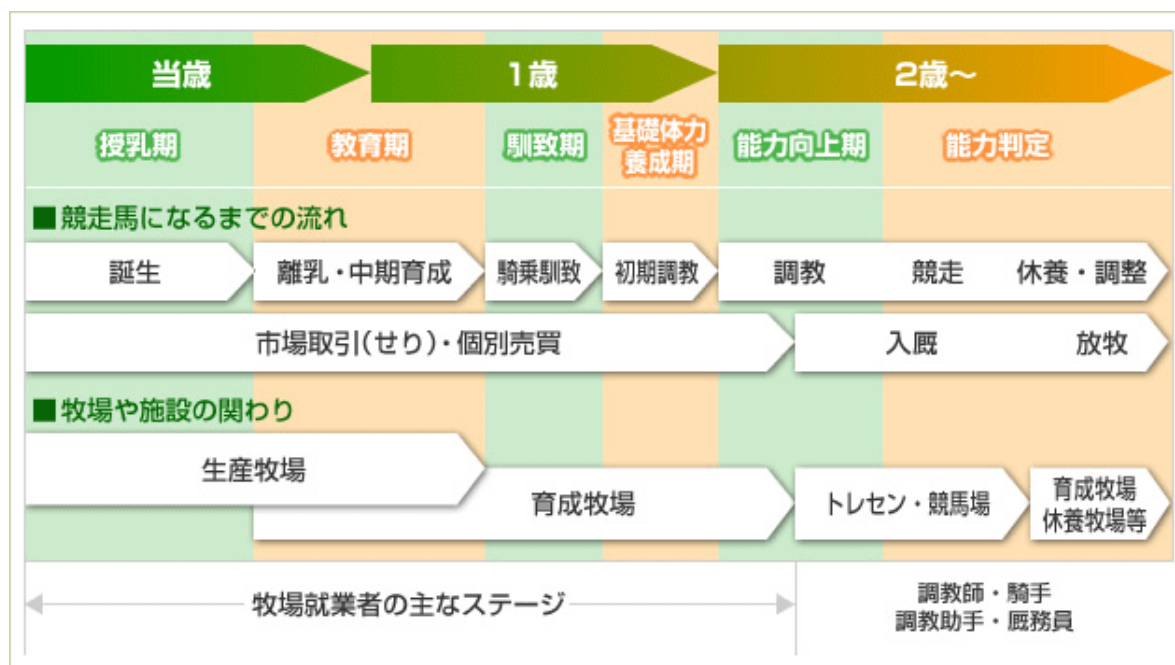
競馬が継続的に成り立つには、牧場は欠かせない存在です。競馬で走る馬を誰かが生産して、育てて、送り出さなければ、競馬に必要な馬資源が絶たれてしまいます。この馬を生産して、育成し、競馬場へ送り出すのが牧場の役割です。

牧場には、主に大きく分けると2つの牧場があります。馬を生産するのが生産牧場、馬を訓練して競馬場へ送り出すのが育成牧場です。

生産牧場とは、繁殖牝馬(母馬)を所有し、種牡馬と配合をして受胎させ、仔馬を作る事(出産)を主な目的とした牧場の事を指します。生まれた仔馬は概ね6カ月間程度で母親と別れます(離乳)。母親は次の出産の準備に入り、仔馬は次のステージである育成牧場でのトレーニングに向けて、自立と基礎体力のアップを図ります。この過程を担うのが、一般的に生産牧場と言われる牧場になります。

一方、育成牧場とは、鞍を付けた事もなければ、人を乗せた事もない若駒(子馬)に、鞍を付ける事、人を乗せて走る事を教え、競走馬としての準備を整えて競馬場へ送り出す過程を担う牧場の事を指します。最近では、現役競走馬の調整などを行う育成場も多く、何れにしても馬の調教を付ける事が主な役割です。

ビッグレッドファームは、この生産部門も育成部門も、そして種牡馬事業も含めて一貫して取り組んでいる牧場です。



(図および一部文面はBOKUJOB 牧場就業促進事務局作成パンフレットより引用)

## ～ ビッグレッドファーム基本入社待遇 ～

《作業時間》	夏(8時間半)	5:30～17:30 (休憩時間3時間半)
	冬(8時間)	7:00～17:00 (休憩時間2時間)
		※但し、作業状況や季節(気候)に応じて調整あり
《休日休暇》	休日	1ヶ月(1日～末日)の暦日数が31日の月 5日間(週1回+1日)
		上記以外の月 4日間(週1回)
	休暇	有給休暇 6か月継続勤務し出勤率が8割以上で10日間 その後法定通り
《初任給》	基本給	115,000円
	奨励手当	70,000円
	職務手当	20,000円～60,000円(騎乗レベルに応じて)
	時間外手当	8,000円(当番制の所定労働時間外に対する手当)
	住宅手当	5,000円
	支給合計	218,000円～258,000円/月
《賞与》	平成29年実績	夏季・冬季合わせて6カ月程度
《保険》	厚生年金保険、健康保険、雇用保険、労働災害保険、傷害共済などに加入	
《福利厚生》	健康診断(年1回)、独身寮・社宅あり、独身者用食堂あり	
《控除の類》	税金、保険料、社宅・寮を利用する者(家賃、光熱費、水道代、食費など)	
《応募条件》	騎乗調教に携わる事(騎乗経験者は優遇するが必須ではない)	
	要普通自動車免許(マニュアル車運転可能な免許)	

### 《ビッグレッドファームの主な作業内容》

～調教に関する業務～	現役馬の騎乗、育成馬の馴致・調教など
～馬の世話に関する業務～	放牧、集牧、手入れ、馬体チェック、病馬の治療、馬移動時の馬運車運転、馬房掃除、飼料作り、飼料付け、お産当番、種付業務など
～環境整備に関する業務～	牧柵作り・修理、ペンキ塗り、草刈り、芝刈り、放牧地の掃除刈り雑草取り、コース管理、放牧地の石拾い、雪かき、休憩所や各厩舎などの清掃・整理整頓、牧場づくり全般
～その他 付随する業務～	来場者の案内、管理馬の近況コメントの作成、写真撮影、動画撮影など

ビッグレッドファームでの仕事は、馬に騎乗する事、馬の世話をすることだけではありません。馬の騎乗はもとより、馬に接することのない作業も数多くあります。騎乗調教に専従したい、繁殖業務(生産業務)に専従したいと考える方には、ビッグレッドファームの方針は合わないかもしれません。全ての作業を、全従業員で行うのが、ビッグレッドファームの方針であり、様々な業務に興味を持って前向きに取り組める人材を求めています。

〒059-2425 北海道新冠郡新冠町字明和 120-4 有限会社ビッグレッドファーム 担当 (蛭名聡)

TEL 0146-49-5601 FAX 0146-49-5602 E-MAIL ebina @ bigredfarm . jp